



RI 第 2 6 1 0 地区

井波庄川ロータリークラブ会報

2010-2011 年度 No. 4 7

事務局 〒939-1635 富山県南砺市福光 7336-4 福光会館 3F

ふくみつ光房内 TEL 0763-53-1333 F AX 0763-53-1334、(レイ・クリンギンスミス会長)

INASHORC@athena.ocn.ne.jp

2010-2011 年度 会長 山本武夫、幹事 助田幸雄

2010-2011 年度 RI テーマ



「地球を育み、
大陸をつなぐ」

例 会 記 録(最終例会)

第 1 5 7 8 回例会

平成 2 3 年 6 月 2 9 日(水)

井波文化センターエイトホール

1. 点鐘 会長
2. ソング 奉仕の理想
3. ゲスト：長谷川総一郎氏
4. 会長の時間：早いもので、本日が最終例会となりました。会長方針を「みんなが健康に！自分が出来ることを！」と、ロータリアンとして、健康について考え、自分として何が出来るかを考え、実行してみようと計画しました。健康とは、ただ病気でないということではなく、身体的にも、精神的にも、更に社会的にも健全状態をいうとWHOの定義にあります。特に病気にならないためには、「上流に迎え」という予防の考えが必要です。

ところが、3 月に起きた未曾有の東日本大震災が、健康などという次元から、生きるか死ぬかという極限の次元を醸し出しました。そうすると、先日の新聞記事のような「少欲知足」、贅沢は言わない、生きることが出来れば、あるいは生活さえできればということが必須となり、つまりは「一病息災」でもいいという考えにもつながります。よく考えてみると、今こうして平凡ながらも、生かされているのはほんとに有難いことです。先日、インターハイ出場を決めた娘がけがをしました。私がこの時浮かんだのが「好事魔多し」。人間は、順調に行っている時ほど、それを阻害するも

のにぶつかる、普段から気をつけていなさいという諺でした。今年一年を振り返ってまさに、思いがけない事変にあたり、忘れられない1年となりました。皆さま方には、いろいろご協力を頂き感謝申し上げます。

5. 幹事報告：①ガバナー事務所から、東日本大震災義捐金の報告と御礼が来ております。②例会変更が来ております。③当クラブの推薦した国際親善奨学生の本村郁恵さんから、アメリカよりメールが来ております。

【井波庄川ロータリークラブのみなさまへ】

大変長い間ご無沙汰しております。皆様お元気でしょうか？アメリカに着いてから毎日新しいことの連続で、あっという間に日が過ぎてしまいました。ロータリーの年度が変わる前に、一言ご挨拶だけでもしておかなければと思いメールさせていただきました。

国際親善奨学生として送り出していただけて、本当に私は幸運だったと思っています。薬物依存の脳内メカニズムの研究を学ぶことを目標にスタートしたこの留学は、異国での生活という不自由さはあるものの、思いのほかスムーズに進めることができ、今は自分の独立したプロジェクトを持って研究しています。

私のいる国立衛生研究所(NIH)は、同じ分野の研究をする人たちが集まった小さな研究組織の集合で成り立っています。日本にある多くの研究機関、教育機関は、幅広い分野の研究をする研究者を集める傾向があり、同じ分野の研究者間のコミュニケーションを自分の研究に活かすことがなかなかできないのです。

が、こちらでは、常に、同じ分野についてのたくさんの知識を持った研究者が議論しながら研究を進めており、研究者間のコミュニケーションの重要性を学びました。アメリカにいる研究者はあまり働かない、というのも、日本人の研究者の中では通説だったのですが、そのようなことは全くなく、彼らは言葉の壁がない上に大変効率よく仕事をしていて、私もがんばらなければと思われています。少しでも多くの人たちと議論し、関わり合いながら、自分の研究を展開させていくことが今後の課題だと思っています。

こちらのロータリークラブのみなさんは、とても温かく私を迎えてくださいました。もう少し上手に会話ができれば、と何度も悔しい思いをしながら、ロータリアンのみなさんの温かい気持ちに少しでも応えられるようにと試行錯誤してきました。アメリカは大変広い国ですので、近くのロータリークラブに訪問するにも、公共の交通機関が使えないことが多々ありました。それでも、私のカウンセラーが送り迎えをしてくださったり、訪問先のロータリークラブの方が迎えに来てくださったりと、井波庄川ロータリークラブでいただいたバナーがすべてなくなるくらいのクラブに訪問し、交流することができました。ロータリークラブの活動を楽しんでいらっしゃる方、困っている人たちを助けようと一生懸命がんばっていらっしゃる方、地域の振興を、とがんばっていらっしゃる方、いろいろな方にお会いしました。恐竜公園を作ろうと活動されていたクラブがとても印象に残っています。

一番ありがたかったことは、3月の東北地方での地震の際に、真っ先に私に電話やメールをして、家族や友人のことを心配してくださったロータリアンが何人もいらっしゃったことです。朝、テレビのニュースで地震のことを知り、動揺していた私にとって、涙がでるほど心の温まる気遣いでした。まだまだ不自由な生活を余儀なくされている人たちがたくさんいらっしゃるというニュースはこちらでも流れており、心配しています。皆様のご家族ご友人はご無事ででしょうか。もし、日本のロータリーで被災地への援助の活動をされていたら、私も何か貢献させていただけたらと思いますし、こちらのロータリークラブのみ

なさんとともに活動することも可能であると思っています。何かアドバイスをいただけましたら幸いです。

日本を出発してから、もうすぐ9ヶ月になります。幸い、来年度も研究室に滞在できることになりましたので、皆様に直接お会いしてのご挨拶はまだ先になってしまいますが、近いうちにまたこちらの様子の写真とともに近況報告させていただきます。

私のこの経験が何かのお役に立てるのであれば、喜んで協力させていただきますので、知らせていただければと思います。

それでは、最後になりましたが、私にこのような素晴らしい機会を与えてくださって本当にありがとうございました。この機会を無駄にしないよう、これからも努力していきます。皆様のご健康とご多幸をアメリカよりお祈りしております。楠本郁恵】

6. 委員会報告：2011・12年度国際青少年交換委員長会議（山本）2610 地区から派遣や受け入れの長期交換留学やベルギー短期留学などについて、説明されました。
7. ニコニコBOX(本日 8 名 16000 円、月計 50000 円、年度累計 603460 円)

上田副会長①：山本会長、1年間全力投球御苦労様。

上田副会長②：新しい活動計画書をもらいました。高瀬年度が始まります。1年間よろしく。

浅田会員：山本会長・助田幹事 1年間御苦労さまでした。これから1年頑張りますので、宜しく。

岩崎会員：昨日 28 日、53 歳誕生日。高瀬年度、S A Aが務まるか心配です。皆様よろしく。

高瀬会長エレクト：山本会長・助田幹事 1年間御苦労様。いよいよ来週から。浅田幹事ともども宜しく。

斎藤会員：山本会長、助田幹事、事務局阿部さん、1年間御苦労様。

河合会員：山本会長・助田幹事、1年間御苦労様。

山本会長：皆様1年間拙い会運営でしたが、有難うございました。いろいろ至らぬ点がありましたが、ご理解とご協力に心より感謝申し上げます。さて、1年を振り返ってその心境は、皆様の机にある1枚のプリント「宮澤賢治の『雨ニモマケズ』」です。

助田幹事：1年間有難うございました。次年度の岳瀬会長・浅田幹事にも、ご協力をよろしくお願いします。

8. 出席委員会報告:18名中12名出席(調整後 70.59%)

年度最終例会「委員会報告」

山本会長: 先ほどの会長の時間で、年度の反省を少し述べましたので、ここでは、各委員長さんに活動報告をして頂きます。よろしくお願いします。

河合クラブ奉仕委員長: 年度当初は、会員増強の計画を立て、あちこち勧誘しましたが、思うようになりませんでした。20名を割った時はさすがに焦りました。出席率は、昨年より上がりました。山本会長の真剣さに協力をさせてもらい、こういう地道な努力はやる気を引き出すと感じました。

岩崎親睦活動委員長: 入会間もなく、わけもわからず務めました。お孫さんやお子さんの参加されたクリスマス家族例会や新年会などでは、個人的にもいろいろ懇親を深めさせてもらいました。次年度SAA務まるか心配です。

河合会員増強副委員長: 年度当初の勢いも、壁にあたり挫折感も味わい、後半退会者が出て、尻に火がつけました。長谷川総一郎氏が入会されると聞いて、私の長年の友人のマーシ園施設長の中島眞市君を誘ったところ、ロータリーのHPを読んで、当クラブの事をしり、また、長谷川さんとはよく知っており、いい機会という感じで入会が決まりました。こういうものは縁ですね。もっともっと、銀行などの支店長など施設の長を誘うべきではないかと考えます。

三谷広報委員長: 月初めの友の紹介だけに終わりました。もっと対外的に情報を発信すべきでした。次年度も引き続き広報を担当します。2610地区広報委員に小西会員がなられましたので、どういうふうにしていけばいいか相談しながら進めたいと思います。

上田奉仕委員長: 今年はごみゼロが休止となり、庄川クリーン大作戦を行いました。助田幹事にお願いし、協賛団体名一覧表を掲示し、紙製横断幕を掲げました。良かったと思います。井波地区は、国際木彫刻キャンプが来年度予定されています。いい歯のキャンペーンはグループホーム「もものところについてごらん」と、山野保育園を訪問し、また、となみ特別支援学校も訪問しました。それから南砺の山々を守る植樹にも協力しました。

斉藤交際奉仕委員長: 地区では国際奉仕はもっぱら青少年交換留学の話ばかりです。当クラブにも話をさせても

らいますが、あまり関連がなく、それ以外の「書き損じはがき回収」や庄川中ALTのキムさんなど外国人の方を招待することを今まで通り行ってきました。これに対する国際奉仕活動への疑問を払拭したく、今回、米山奨学生のお世話にロータリアンとしての使命を感じ、カウンセラーとして世話をさせて頂くことになりました。

助田新世代副委員長: 長谷川委員長と、協賛する高瀬神社奉納剣道大会を見学し、若い子供たちの活気や父兄の応援の真剣さを肌で感じてきました。長谷川夫妻も、毎日のように高瀬神社に参拝しているそうですが、この大会には感動しておられました。

山本会長: 各委員長さんには、大変お世話になり、有難うございました。斎藤年度から、引き継ぎ当初はほんとに斎藤パスト会長にはご迷惑をおかけしました。また、事務局の阿部さんには、去年は松村さんのいない時に少しお願いしていましたが、今年から専属でということで、1年間お疲れさまでした。これから、高瀬年度が始まりますが、また皆さんとともに、ご協力させて頂きたいと思います。ほんとに1年間お世話になりました。

【補足発言】三谷会員: 今後のロータリーの活動の事で、もう一言。今日のニュースでは、震災に関連して、電力会社の株主総会が報じておられました。一部株主の提案した「脱原発」は株主総会ではどこも否決されています。また、行政の長の考えは、「脱原発」を表明するのが多くなっています。これについて、ロータリーではまだどこも何も言っていないんですが、真正面から考える時期ではないでしょうか。今後ロータリーでどう扱うか、考えていくべきです。

【三谷先生、有難うございました。福島原発から、日本中の原発が取り沙汰されています。当地にも少し離れた志賀原発があります。「安全性を高められるか」「廃炉にして、代替エネルギーに頼るか」これは、問題意識を高めないと意見が出ない事柄です。城端線継続についてもしかり、一般住民は、最近意見を持たないか、言っても実現できないとあきらめるか、どちらかが圧倒的に多い現実があります。ロータリーが、池に石を投げかけ、波紋を広げられるか、今後、大いに議論し行きましょう。(山本註)】